文学の森は

コマーシャリズムと出版業主に関する考察

文学の森には、 たくさんの木々があります。

その木々は、それぞれが芸術作品であり、 同時に大きなタペストリーの 一部となっています。

空高く聳える巨大な杉もあれば、 傍らに置かれる小さな盆栽もあります。

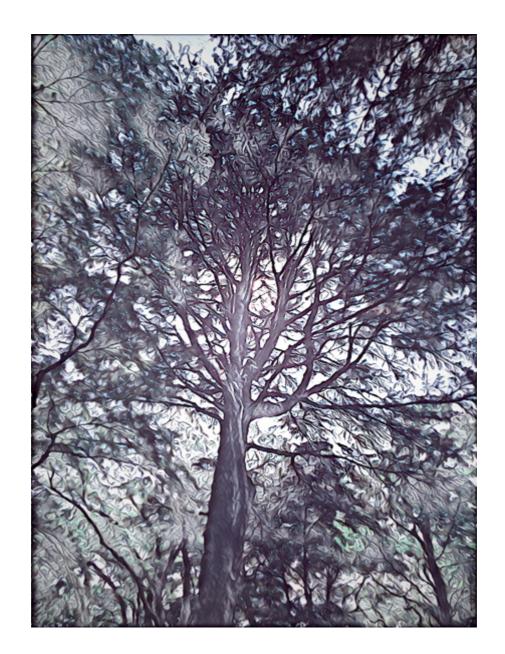
林冠を形成するデリケートな シダーの木々もあれば、 光を避け、上手に隠れるものもあります。

しかしながら、 これらはすべては同じ運命を辿ります。

> すべてが利益で正当化され、 お金が全能の社会では、 商業主義のチェーンソーや、 産業のブルドーザーが、 容赦なく襲いかかります。

文学は

市場の本棚に載る商品です。 売れない言葉の集合は、すぐに堆肥になります。 金銭価値のない言葉は、すぐに腐敗します。



玲亜: この悲哀に満ちた詩の、何がよいのですか。

ミン: そうだね。商業主義がないと思うのは、世間知らずではないですか?

ティム:皮肉に毒されないで! 初めは世間知らずに見える考えは、歴史を変えます。

ミン: う~ん!誰が歴史をそんなに単純だと言ったのですか?僕は、歴史は

よく変えられるものだと思います。

- **T Newfields(和訳:**新田博) 開始: 1995 年静岡 ★·完成: 2016 年新台北市

